



# 釜小だより

学校ホームページアドレス <http://www.educity.yokohama.lg.jp/school/es/kamaiya/>

2021年 4月30日  
横浜市立釜利谷小学校  
5月号



## 大型連休を控えて

校長 菊池 幸博

街を行くと、青空を春の風によって気持ちよく泳ぐ鯉のぼりがあちらこちらで見かけられます。全国各地でも、川の上にロープが張られたり、お城のお濠の上を泳がせたりと様々なスタイルで鯉のぼりが飾られています。コロナ禍でなければ、それが地域行事のお祭りとして行われ、多くの観光客の方々にぎわったのではないのでしょうか。



この鯉のぼり、私は少し前までは、中国から伝わってきた(登竜門伝説になぞらえて)と思っていたのですが、実は日本の江戸時代に、武家の男子の出世を願って馬印などを揚げていたのが始まりだそうです。こうした習慣を、当時の庶民が真似をして縁起物である鯉(ここはやはり登竜門伝説になぞらえられたのでしょうか)を布に描いて揚げるようになったのだとか。今の時代では、男子の出世という言葉自体が不平等ととらえられますし、また男子は出世しなくてはいけないという考え方は、現代では受け入れられにくいものではないのでしょうか。

「こどもの日」はまさに成長過程にいる「子どもたちの日」であって、どの子も新年度開始の頃に立てた、それぞれの目標に向かって、時に試行錯誤を繰り返して、時に成功体験を重ねながら、自分の力を蓄え、伸ばし、発揮し、重ねた努力の成果として、一つの目標に達することができる。まるでそれは、鯉の滝登りのように、力強く、しなやかな姿と重なるのではないのでしょうか。

日々の学習の中で、こうした子どもたちの姿を、各担任も周りで子どもたちを支える学校スタッフも、励みとしてとらえ、ともに学校づくりに進んでいます。

安全で楽しい大型連休をお過ごしください。

### 校内セクハラ防止窓口について

今年度も校内における児童のセクハラ相談窓口を開設しております。窓口は、原児童支援専任・大阿久養護教諭です。何かありましたら、どうぞお気軽にご相談ください。教育総合相談センターの一般教育相談も、セクハラ相談窓口として利用できます。

(電話：045-671-3726～8)